

＼ この4年、市民の**声**が動かしました！ ＼



18億円の  
「道の駅」  
断念させた

保育所定員  
608人増

水道料金  
3度目の  
値下げ

中学校給食  
中学卒業まで  
医療費無料



今こそコロナから

命・くらしを守る政治を

日本共産党の**6人**で

負担  
軽減

- ▶ 下水道料金 2割値上げ中止
- ▶ 国保料・介護保険料引き下げ
- ▶ 給食費・教材費の負担軽減



感染拡大  
封じ込め



くらし・仕事  
守る



ケアの現場  
守る

- ▶ 介護や保育・学校等現場の定期PCR検査
- ▶ 市民・企業等のPCR検査支援
- ▶ ワクチン接種の円滑化

- ▶ 自粛・売上減少におうじた補償
- ▶ すべての事業者の声を聞く調査・対策
- ▶ 生活に困った人により積極的に親切的な市役所に

- ▶ 「ケア労働」の給与アップと正規職員化、事業所支援
- ▶ 学童保育の過密改善、保育所増・幼稚園支援
- ▶ 少人数学級、すべての子にゆきとどいた教育

政権交代で願いとどく政治を

給食費無償  
学費半額

持続化給付金  
再支給

ケア労働  
処遇アップ

立憲民主党と共同で  
予算組み替え動議

制度解説 衆院選挙投票方法

比例代表は

日本共産党  
と政党名を書きます

28歳で議員に当選させていただき、早くも4期ですが、  
コロナ禍で、本当に自問自答の日々です。  
議会は「チェック機能」では間に合わない。  
無為無策の政権のもと、「施策を創り出す」必要があります。

全戸配布で制度のお知らせ。市民アンケート。事業所アンケート。  
保護者アンケート。福祉・保育等事業所いっせいで実態を聞く。  
それを8回・192項目にわたり、市に申し入れてきました。  
しかし現状はきわめて不十分です。

「国民の気持ちがわかる政権」を。  
「国よりも、市民のほうを向いた市政」を。

困ったとき、「ちゃんと見てくれている」と  
誰もが感じられる政治の実現へ、  
引き続き働かせてください。

ひとりもみすてない  
政治をいまこそ

市議会議員 おはらあきひろ

小原明大

プロフィール

1977年(昭和52年)3月生まれ。若草幼稚園・長九小・長三中・西乙訓高・神戸大学卒。長岡京市役所勤務をへて市議4期。2011年市長選・府議選で次点。長岡京の地下水を考える会事務局長。国土問題研究会・建設政策研究所・ひまわり保育園をつくる会など会員。LGBT自治体議員連盟に参画。

小原がいつでも  
お返事します



議員団公式  
LINE

くらし・労働相談  
いつでもお寄せください！  
日本共産党

自宅 久貝3丁目4-5 302号 TEL.957-7142 ohara1095@goo.jp

おっは一長岡京

長岡京民報 2021年8月号 発行：日本共産党乙訓地区委員会 長岡京市長岡2丁目6-10

日本共産党乙訓地区委員会は上記の見解を発表しました



# 高齢者でも、子どもでも、障がいがあっても、どの性でも、子育てしていても、ひとりでも、マイノリティでも、様々な事情があっても、**くらしやすい長岡京に**



東京レインボープライドで発言

## 女性も、LGBTも、平等な社会に

性暴力の刑法改正へ、他党の女性議員らと相談。全会一致で意見書採択ができました。「生理の貧困」問題をとりあげ、市が生理用品の提供へ。自らLGBT当事者として公表し、「パートナーシップ制度」実現や、全国初の「同性婚」の意見書採択(全会一致)に貢献。「性同一性障害」に関する医療への保険適用を求める意見書も採択できました。



大雨時は見回っています

## 言い続けてます 水害対策

大雨のたびに農家の方々が夜通し運転管理していた「大下津排水機場」が、ようやく民間業者への委託に。機器の更新、管理主体や連携など、残る課題をとりあげ続けます。「福祉避難所」への直接避難ができないことの改善を求めてきましたが、国の指針が改正。具体化を進めます。



スーパー前で映画の宣伝

## 人と人をつなげたら、大きな動きに

日本の農業を危うくする「種苗法」改悪。一人で議会に要望書を出した方と「考える会」をつくり、国会議員への要請や、農家の方との懇談、映画「タネは誰のもの」の上映へ。取り組むなかで仲間が広がり、上映会は100人の参加で成功。その後も自然農の見学など活動を続けています。



核兵器禁止条約の実現を求める署名に市長もサイン



車いすの方の声を聞き道路改善

## ひとりもみすてない 長岡京へ

市から1人しか選ばれない「京都地方税機構」議員を2期連続つとめ、「娘の教育ローンを差し押さえされ退学の危機」という問題を追及。国会議員秘書とも連携し、差し押さえは解除に。「労災認定と同時に過去の保護費返還を求められた」問題では、府に審査請求を行い、行政側が誤りを認め撤回しました。



子どもたちの声も聞きます



保育所申し込み者の声をきく

## 声をあげれば 変えられる

コロナ禍の事業者の声を聞くなか、「全国で水道料金が軽減されてる。せめて半額になれば頑張れる。署名運動でもしたいわ」と散髪屋さん。署名をつくると、3週間ほどで1563人分が一気に。昨年夏に実施された「5千円商品券配布」は、水道半額に匹敵する予算規模です。「保育所ふやして」署名の取り組みに参加。6651人の署名が提出され、議会で否決されるも保育所定員は4年で608人増えました。



大門橋から北の土手に12基の照明設置が決定



撮影 | 長島可純

道の駅は「断念」させました！

小原さんを  
推薦します



城の里 近藤英城さん

小原くんはわが子の世代。社会変革に燃えていた自分の若い頃を思い出させてくれる。がんばれ！



市内企業で働いてきた Kさん

パワハラで困っていたとき、党员の方々と一緒に労働局に同行してくれ、熱心に相談に乗ってくれ心強かったです。



ヘアサロンニラサワ 荻沢正博さん

よう来てくれるし、子どもの医療費や中学校給食など身近なことやってくれてると息子や娘も言ってるよ。がんばって。

「コロナから命・くらしを守る」を市政の最優先にすえ、国・府に先駆けて地方から動かしていくことを促進します。

●大型開発より、いま住む8万市民の暮らしがより安定し、次世代に着実に受け継げることを目標にします。

●困ったら助けてくれる市役所、困っている人に声をかける市をめざします。

●人をケアする仕事に重きをおく市、ジェンダー平等はじめ人権へ前向きな市にします。

●災害避難のむずかしい人を取り残さない市にします。

●水道広域化・民営化を許さず、「新浄水場の建設で地下水中心のおいしい水を飲める」市にします。

●大きな事業などについて、「知らないところで決まっている」のない市にします。

●市民の声をもっと聞き、政策提言する議会にします。

●市の基金の活用とともに、国や府の政治も動かす運動をすすめ、政策実現につなげます。